

■活動の詳細情報

●活動名：「気象寺子屋」を舞台にした生涯学習・課外教育。

●その活動をした期間： 2021年～現在

●活動のきっかけ・背景・経緯

1959年、気象庁研修所高等部（現気象大学校）入校以来、卒業後は気象観測・研究・予報に従事、その間、米国に家族と留学、運輸省に出向、

気象庁各部局で行政に携わり、2011年札幌管区気象台長で退職。退職から現在まで、約20年にわたって行って来た、

主に気象に関する啓発、教育、著述、出版活動、情報発信の舞台である「気象コンパス」(<http://www.met-compass.com>)とは別に、

新たに2021年に気象に関する生涯学習と課外教育などに特化した舞台としてホームページ「気象寺子屋」を立ち上げ、

現在、大学や公民館などで、講座・教室・講演を実践している。

●活動内容

公民館、大学、団体などで、気象に関する教室や講座を、対象者と日程を勘案して行っている。昨年は「かしま灘楽習塾」（鹿嶋市）、「理科特別授業」（鹿嶋市の小中学校）、「気象講座」千葉自然大学（千葉市）、「気象講座」敬愛大学（千葉市）、「気象講座」（福井県大野市）で実施。

●対象となった人数

年間延べ300人程度 / 23年度実績延べ約200人 / 過去3年間延べ約800人 / 今後数1000人を目指す。

●反響・エピソード・成果

上述の「気象寺子屋」における教育活動および約20年以上にわたる「気象コンパス」(<http://www.met-compass.com>)

を舞台とした啓発、出版活動などの影響で、新聞やテレビ、雑誌社からの寄稿依頼や講演依頼などを受けている。

仮に「岩佐賞」の授賞に輝けば、「気象寺子屋」の協力者を得て、気象に関する生涯学習や課外教育の全国的拡大が実現される。

●活動への思い・今後の予定

筆者（古川）はこれまで、多数の気象に関する書籍を上梓した中で、気象の観測・予測・研究に携わることを天職とし、

生涯の仕事として来た人々を、尊敬の念を込めて「天気野郎」と呼んでいる。筆者もこの「気象寺子屋」の

活動を充実・拡大を誇りとし、生きがいとすることで、「天気野郎」の末席を汚せればと精進したい。

なお、今後も「気象コンパス」の活動は継続する。

